

中和抗体薬（点滴薬）・経口薬の治療実績

令和4年2月18日
保健福祉局保健所

(1) 中和抗体薬（ゼビュディ）の治療実績

	2月7日	2月14日
入院受入医療機関の31病院（39病院のうち <u>37病院登録済み</u> ）	297	427(+130)

※ オミクロン株への対応として変異株にも効果のあるゼビュディの活用体制の強化を図っている

(2) 抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の治療実績

	2月7日	2月14日
入院受入医療機関の37病院（39病院中）を含む 38か所の医療機関など	515	515

※オミクロン株に対しては、中和活性が低下することから投与が推奨されていない（厚労省）

(1) + (2) 中和抗体薬（点滴薬）の治療実績 合計 942人(+130)

(3) 経口薬（ラゲブリオ）の治療実績 合計 574人(+220)

	2月7日	2月14日
入院受入医療機関の22病院（39病院のうち <u>38病院登録済み</u> ）を含む医療機関など	354	574(+220)

新しい経口治療薬について

令和4年2月18日
保健福祉局保健所

●パキロビッド（ニルマトレルビル）

- ・ **2月10日、経口治療薬パキロビッドが特例承認された**
- ・ 薬事承認後、ファイザー社から日本政府に200万回分を供給することで合意
- ・ **対象患者は、重症化リスクのある、成人と12歳以上で体重40kg以上の小児**
- ・ 臨床試験において、入院や死亡のリスクが9割近く低減。オミクロン株にも有効
しかし、**同時に服用できない薬が多数**（約40種類）
あることから、審議会において**専門家から慎重な投与が必要との意見あり**
- ・ **2月27日までは試験運用期間**とし、入院受入医療機関と一部の薬局のみの取扱い（2月28日以降、実績を踏まえて入院・外来で処方可能となる見込み）
- ・ 試験運用期間後は、**ラゲブリオの処方体制を活用可能**



用法：1日（3錠）2回、5日間服用
淡赤色錠剤：長径17.5mm・短径8.5mm
白色の錠剤：長径17mm・短径9mm

ラゲブリオ（モルヌピラビル）※昨年12月に特例承認

・重点医療機関

入院患者等に院内処方

登録数

37/39

・発熱外来など

診察を行い、「対応薬局」にて処方。順次、拡大予定

対応可能数

205

・対応薬局

経口治療薬を扱う薬局の更なる拡大を図り、供給体制を強化した。

市内**243**か所に在庫配置済



営業時間短縮等の要請に応じる飲食店等への協力支援金について

1 要請の趣旨

札幌市内の感染状況は、新規感染者数の高止まりとともに医療提供体制への負荷も高くなっており、予断を許さない状況となっている。そこで、引き続き感染状況の抑え込みを図るため、知事がまん延防止等重点措置に基づき、市内全飲食店等に対し営業時間短縮等を要請するもの。

2 要請の概要

(1) 要請期間

○令和4年2月21日(月)から令和4年3月6日(日)まで (14日間)

(2) 対象施設 札幌市内の飲食店・カラオケ店・結婚式場

(3) 要請内容

○営業時間の短縮

北海道飲食店感染防止対策認証店 (第三者認証制度)	認証店以外
①、②いずれかを選択 ①営業時間：午前5時から午後9時まで 酒類提供：午前11時から午後8時まで ②営業時間：午前5時から午後8時まで 酒類提供を行わない	営業時間：午前5時から午後8時まで 酒類提供を行わない

○その他、同一グループの同一テーブルへの入店案内を原則4人以内とするなど、都道府県知事が定める事項

(4) 協力支援金

○支援金額/1店舗1日当たり

①を選択した認証店	中小企業⇒2万5千円から7万5千円 (売上高の3割をもとに計算) 大企業 ⇒上限20万円 (売上高の減少額の4割をもとに計算)
②を選択した認証店 認証店以外	中小企業⇒3万円から10万円 (売上高の4割をもとに計算) 大企業 ⇒上限20万円 (売上高の減少額の4割をもとに計算)

※中小企業は、大企業と同じ計算方法も選択可

○支援金対象期間

原則、令和4年2月21日(月)から令和4年3月6日(日)まで

3 要請期間と申請受付期間

	要請期間	申請受付期間	備考
1	1月27日から2月20日	2月21日から3月31日	早期給付あり
2	2月21日から3月6日	3月7日から(予定)	